

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-65	高 等 学 校	芸 術	音 楽 II	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
89・友社	音 II・312	改訂版 ON! 2		

1. 編修の基本方針

時代の変化と生徒の実態に即した「個性的な教科書」を意図し、以下の諸点を編修の基本方針とした。

- (1) 高等学校学習指導要領・芸術科「音楽 II」の目標・内容に則る。
- (2) 「音楽 I」からの継続性と「音楽 III」への発展性を重視して内容を構成する。
- (3) 基礎的・基本的な音楽能力の育成を目指して、表現と鑑賞の関連を図るとともに、参考資料を豊富に取り入れて学習効果を高める。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
【全体の構成】 学習指導要領の内容構成にしたがって、全体を「歌おう」(歌唱)、「奏でよう」(器楽)、「聴いて学ぼう」(鑑賞)、「つくろう」(創作)の4部構成とした。	「豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成」を期し、音楽についての幅広い知識と教養を身に付け、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養い、豊かな情操としなやかな感性を培うことを目指した(前文/第1号/第4号)。	p.8-63 p.64-77 p.78-103 p.104-108
【歌唱】 歴史、生活、環境とのかかわりのなかで、生徒が自らのアイデンティティを見つめ直す観点として、「Then and Now」「Classics」「World」「Chorus」の4つを設定した。	生徒一人一人の価値観を尊重して、その音楽的な能力を伸ばす中で創造性を培い、生涯にわたって音楽と関わり続けるような、自主及び自律の精神を養う(第2号)。	p.8-17 p.18-41 p.42-53 p.54-63
【器楽・創作】 身体リズム表現から、キーボード、ギター、リコーダーなどによる合奏を経て、和楽器の習得に挑む。創作では旋律作りとともに、音素材を生かす活動を重視した。	小集団活動においては自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に芸術界・音楽界の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う(第3号)。	p.64-65 p.66-77 p.104-107 p.108
【鑑賞】 和楽器体験に基づく日本音楽や郷土の伝統音楽の感得、諸外国・諸民族の音楽の理解を経て、西洋音楽の歴史認識と、ポピュラー音楽の特質に迫る。	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う(第5号)。	p.78-84 p.85-89 p.90-99 p.100-103

<p>【内容の取扱い】冒頭の「音楽をふかめよう」の導入機能が、その後の諸活動に生きて働くような連動作用を仕組んで、生徒の学習意欲の喚起をうながした。</p>	<p>芸術教育の目標が達成されるためには、生徒が自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して指導を展開する必要がある(第6条第2号)。</p>	<p>p.4⇔8 p.5⇔20 p.6⇔28, 32 p.7⇔14 など p.109-112</p>
---	--	--

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ①基礎的な音楽能力の育成を目指して、教科書全体を学習指導要領の領域構成にしたがって4つの「領域ブロック方式」で構成し、それらの相互関係を重視した編修を行った。
- ②鑑賞教材の編修に際しては、楽しい学習展開を意図して、音楽のさまざまなジャンルから生徒の心情に適した楽曲を選定するとともに、それらの理解に有益な関連情報や、豊富なカラー資料を掲載した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-65	高 等 学 校	芸 術	音 楽 II	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
89・友社	音 II・312	改訂版 ON! 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

芸術科「音楽 II」では、「音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める」ことを目指している。

これに応えるため、本教科書では音楽の知識・技能の基礎・基本を学ぶ出発点として、冒頭部に「音楽をふかめよう」のコーナーを設け、そこでの学習が「4 領域ブロック」の全体に波及する「個性的な教科書」を目指して編修に当たった。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
音楽をふかめよう		3 取扱(3)[(3)]	p.4-7	
歌 お う	Then and Now	2A 表現(1) 歌唱アイウエ	p.8-17	
	Classics	2A 表現(1) 歌唱アイウエ	p.18-41	
	World	2A 表現(1) 歌唱アイウエ 3 取扱(3)[(4)(7)]	p.42-53	
	Chorus	2A 表現(1) 歌唱アイウエ	p.54-63	
奏 で よ う	体を楽器に	2A 表現(2) 器楽イエ	p.64-65	
	リコーダー運指表／ギター・コード表	2A 表現(2) 器楽イ	p.66	
	楽器にチャレンジ(キーボード／リコーダー／アンサンブル)	2A 表現(2) 器楽アイウエ 3 取扱(1) (3)[(4)(7)]	p.67-77	
聴 い て 学 ば う	日本音楽の流れ	2B 鑑賞ウエ 3 取扱(2) (3)[(7)(8)]	p.78-79	
	鑑賞〈日本音楽〉／現代日本の音楽	2B 鑑賞アイウエ 3 取扱(2) (3)[(6)(7)(8)]	p.80-84, p.99	
	音楽から世界を眺める	2B 鑑賞アウ 3 取扱(3)[(7)(8)]	p.85-87	
	西洋音楽の流れ	2B 鑑賞ウエ 3 取扱(3)[(7)(8)]	p.88-89	
	鑑賞〈西洋音楽〉	2B 鑑賞アイウ 3 取扱(3)[(6)(7)(8)]	p.90-98	

つくろ	詩「サーカス」を例に音楽をつくってみよう	2A 表現(3) 創作アウエ 3 取扱(3)[(5)]	p.104-105	
	ベートーヴェン「歓喜の歌」の旋律を例に大きな曲をつくろう	2A 表現(3) 創作アイウエ 3 取扱(3)[(5)]	p.106-107	
	Make Your Own Music!	2A 表現(3) 創作イ 3 取扱(3)[(5)]	p.108	
資料	作曲家年表／ポピュラー音楽	2B 鑑賞ウエ 3 取扱(2) (3)[(7)(8)]	p.100, 101	
	楽典(楽曲の形式と種類／楽典／主要音楽用語)	2A 表現, 2B 鑑賞 3 取扱(3)[(3)(5)]	p.109-112	
	批評文／著作権	3 取扱(3)[(6)(8)]	p.90, 101	
	音・音楽のコラボレーション	2B 鑑賞ウ 3 取扱(3)[(8)]	p.102-103	
	カラー口絵(CREATION 新たな価値を創造しよう／ON STAGE 舞台の響き)	1 目標 3 取扱(3)[(8)]	おもて表紙裏, うら表紙裏	